

## —あおぞら—

### 第60回大気環境学会年会開催のご挨拶

第60回大気環境学会年会長  
東京農工大学大学院農学研究院 教授  
伊豆田 猛

2019年(令和元年)9月18~20日に、第60回大気環境学会年会を東京農工大学府中キャンパス(東京都府中市)で開催いたします。大気環境学会は、1959年(昭和34年)12月に設立された大気汚染研究協議会を母体とし、以来60年の長きにわたって日本の大気環境研究をリードしてまいりました。今回の大気環境学会年会は60周年記念年会でございますので、会員が一堂に会し、60周年を記念し、日頃の研究成果を発表するとともに、大気環境研究に関する最新の情報を交換・発信する場にしたいと考えております。

60周年記念年会では、例年通りの一般研究発表(166件)、ポスター発表(149件)、分科会(9件)、特別集会(4件)、環境機器展(36社、機器展示・カタログ展示)などが予定されておりますが、さらに日中韓国際交流シンポジウム、60周年記念シンポジウムおよび市民集会など、盛り沢山の内容になっております。9月18日(水)に開催される日中韓国際交流シンポジウム「For a better understanding of air pollution in East Asia」では、10名の日中韓の研究者による講演が行われます。9月19日(木)に開催される60周年記念シンポジウム「気候変動に伴う大気環境変化とその影響」では、中島映至先生(JAXA地球観測研究センター)による基調講演と4名の演者による講演が行われます。9月20日(金)に、市民集会「大気環境データの国民への即時提供—観測と予測—」を公開で開催いたします。また、大気環境学会創立60周年記念事業の一環として多くの学会員が執筆いたしました「大気環境の事典(朝倉書店)」の出版披露と会員特価による販売を予定しております。

60周年記念年会の会場は、2019年に創基145周年を迎えた東京農工大学の府中キャンパスです。開催にあたっては、大気環境学会関東支部の会員をはじめ、全国の学会員から絶大なるご支援を頂いております。東京農工大学の府中キャンパスは、東京都の中央部に位置し、都心からの交通アクセスに優れていることから、学会員をはじめ、産業界や官界からのご参加によって、活気ある60周年記念年会になることを期待しております。府中の市名は大化の改新(645年)に伴って武蔵国の国府が置かれたことに由来しており、懇親会の会場である大國魂神社は1900年もの歴史を有しております。歴史ある府中では、馬場大門のけやき並木(天然記念物)や府中キャンパス正門のけやき並木が私たちと共に皆様の60周年記念年会へのご参加を心よりお待ちしております。何卒よろしくお願ひ申し上げます。